

## Ⅸ まちづくりの推進体制

小名浜のまちづくりは、小名浜まちづくり市民会議が可能な限り市民活動の中心を担えるよう今後も努力を続けていくことを前提に、自分たちだけでは到達しえない目標に向かって、他団体や企業、行政と連携しながら、このグランドデザインを当面の共通指針として進めていく。

市民会議では、今後このグランドデザインを実現させるためにこれまでの組織を見直し、基本的に全体事業としてその進行に携わるような組織編成が必要となる。分野ごとの事業をそれぞれ役割分担し、「グランドデザイン委員会」に代わる委員会で、その進行管理を行いながら、全体事業として全会員、他団体と連携しながら各事業を進めていくこととする。

いつの時代もまちは日々その置かれている環境が刻一刻と変化し続ける。今現在の将来像と希望したこのグランドデザインが、数年後の時代に本当に求められているものなのか。区切りごとにその見直し修正をかけていくことが必要である。

次の時代の主役となる若者、子供たちの声をより多く取り入れ、本当に望むまちの姿を常に創造していくことが求められている。





▲朝市「小名浜マルシェ」（平成30年）



▲小名浜みなと学（随時開催）



▲奇跡の防波堤



▲海神ネプチューン大学（AMPF）



▲AMPFによる草刈り清掃（月1回債）



▲旧小名浜測候所の標本木（ソメイヨシノ）



▲小名浜クリスマスマーケットで設置された8メートルのビックツリーとイルミネーション